

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 5 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	公共施設における再エネ発電設備及び蓄電設備設置工事設計業務	
補助事業者名	掛川市	
補助事業の概要	<p>令和 4 年度事業で行った「公共施設における再生可能エネルギー発電設備導入可能性調査」において、設備設置が特に有望とされた 6 施設を対象に、再エネ設備及び蓄電設備設置工事に係る設計業務を一括して実施し、令和 6 年度以降早期に設備設置工事を実施することを目指す。</p> <p>施設の耐震性や屋根面積及び形状といった物理的条件のほか、当該施設の想定供用年数やエネルギー需給状況を基に詳細な電力使用状況を把握し、エネルギー効率の面も踏まえて最適な導入量や工事手法を施設別に設計する。</p>	
総事業費	8, 800, 000円	
補助金充当額	7, 575, 000円	
定量的目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019 年度に、市内消費電力における再エネ比率 11%を達成する。 ※達成済み</li> <li>・2020 年度上半期中に地域新電力会社を設立し、同年度中に小売電気事業認可を取得する。 ※達成済み</li> <li>・2025 年度までに新たな発電設備を 3 箇所以上設置する。</li> <li>・2030 年度に、市内消費電力における再エネ比率 36.1%及び GHG 排出量 46%削減 (2013 年度比) を達成する。</li> </ul>	
補助事業の成果及び評価 (事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど)	<p>令和 4 年度事業の可能性調査を基に再度現地調査を行い、パネル枚数や屋根形状に適した設置方法を施設ごとに検討することができた。また、6 施設一括設計により、令和 6 年度以降太陽光発電設備等の設置を計画的に行っていく準備が整った。これにより、総合計 462.89kW の太陽光発電設備と 30kWh の蓄電設備を導入し、今後の公共施設の脱炭素化及びエネルギーの地産地消を推進できるようになった。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	再生可能エネルギー発電設備及び蓄電設備設置に係る設計業務は、建築や電気設備等の専門的な知識が必要となるため、深い知見を有する事業者に業務を委託した。
	契約の方法	制限付き一般競争入札
	契約の相手方	福田一級建築士事務所
	契約金額	7, 575, 700円

来年度以降の事業見通し	令和6年度以降、6施設へ太陽光発電設備等の設置工事を行う。あわせて余剰電力を、地域新電力を通じて他の需要家へ供給するため送配電事業者と契約し、エネルギーの地産地消を目指す。
-------------	--

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。